

## プラント状況確認結果(平成29年1月10日～平成29年1月17日)

平成29年1月17日  
福島県原子力安全対策課

平成29年1月10日～平成29年1月17日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

### (1) プラント状況(1月17日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量(m <sup>3</sup> /h)	3.4	4.5	4.5	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<a href="#">15.2</a>	<a href="#">18.9</a>	<a href="#">18.0</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	1.16×10 <sup>-3</sup>	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 <sup>※4</sup> (体積%)(A系)	0.02	0.03	0.04	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	20.6	22.8	22.0	13.7

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 実施計画に定める制限値は、1Bq/cm<sup>3</sup>以下である。また1、2号機の値は作業に伴うデータの欠測があるためB系の値を記載。

※4 1、2号機の値は作業に伴うデータの欠測があるためB系の値を記載。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(1月17日午前10時)

最小 0.559(MP-6)～最大 2.045(MP-4)マイクロシーベルト/時 [⇒計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(1月16日採取分)

最小 検出限界値未満(物揚場前、6号機取水口前)Bq/ℓ

※各検出限界値は約0.51、0.54Bq/ℓ

～最大 2.5(1～4号機取水口内北側)

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(1月16日採取分)

5,6号機放水口から北側に30m: 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.59Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界値未満<sup>※5</sup> ※検出限界値は約0.53Bq/ℓ

※5 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約330m地点において試料を採取。(2016年9月16日～)

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(1月16日採取分)

西門: 検出限界値未満 ※検出限界値は約1×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(1月16日採取分)

最小 検出限界値未満(3、4号機) ※各検出限界値は約3.5、5.2Bq/ℓ

～最大 250(2号機)Bq/ℓ

(問い合わせ 024-521-7255)